

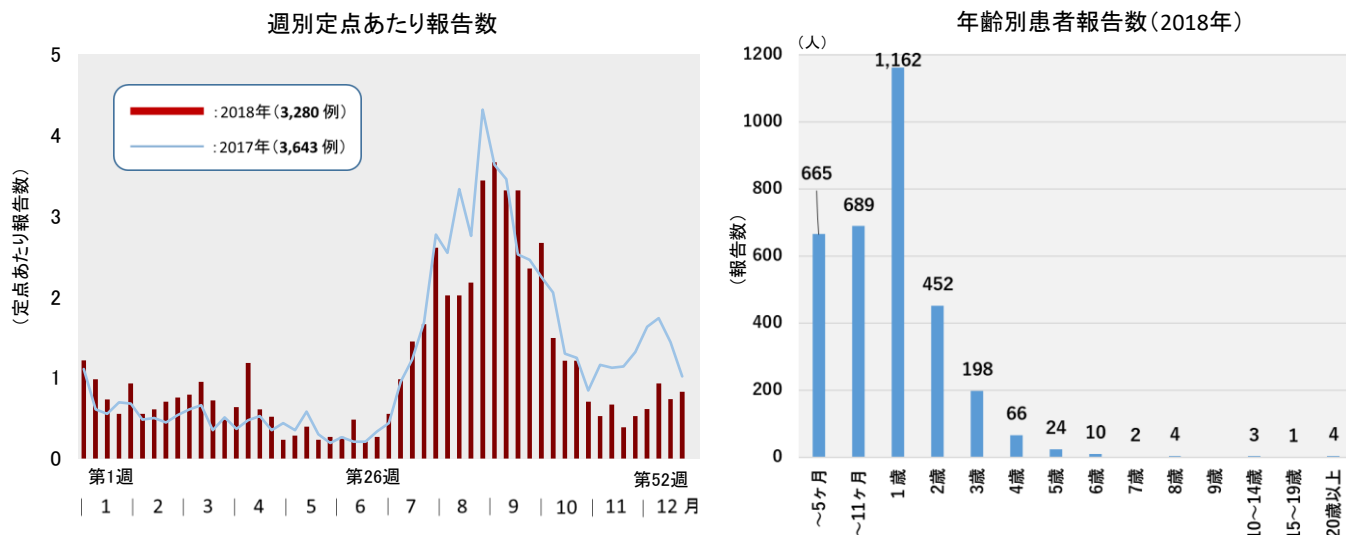
1) 小児科定点把握疾患

ア RSウイルス感染症

2018年のRSウイルス感染症の報告数は3,280人、定点当たりの報告数は57.54であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は45.13であり、2018年は2017年に次いで2番目に多い報告数であった。

RSウイルス感染症は年々流行が早まり、週別定点当たり報告数では、2018年は前年と同様に28週から増加し始め、ピークは36週の3.67であった。

年齢別患者報告数は、1歳代の1,162人が最も多く、6～11ヶ月の689人、0～5ヶ月の665人、2歳代の452人と続き、2歳以下で全体の90.5%を占めている。



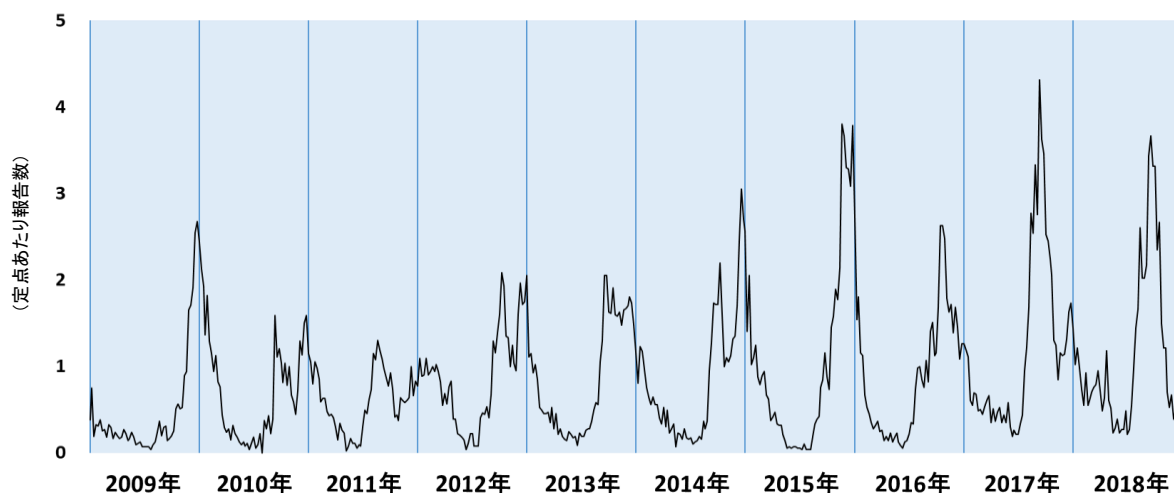
《ブロック別・週別定点あたり報告数》

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
市	1.21	0.98	0.73	0.55	0.93	0.55	0.61	0.70	0.75	0.79	0.95	0.72	0.48	0.64	1.18	0.61	0.52	0.23
北部	2.00	2.14	1.00	0.79	1.57	1.14	1.57	1.50	1.64	1.57	2.21	0.79	0.57	1.21	2.00	0.93	0.57	0.43
西部	2.20	1.00	1.50	0.90	1.00	0.90	0.40	0.30	0.90	0.50	0.80	1.30	0.70	0.60	1.60	0.60	0.80	0.60
東部	0.47	0.40	0.40	0.27	0.27	0.07	0.33	0.33	0.53	0.73	0.53	0.73	0.53	0.53	0.80	0.53	0.53	0.00
南部	0.65	0.53	0.35	0.41	0.94	0.29	0.18	0.61	0.17	0.39	0.39	0.33	0.24	0.25	0.56	0.41	0.29	0.06

週	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
市	0.29	0.39	0.23	0.27	0.27	0.48	0.21	0.27	0.55	0.98	1.45	1.66	2.61	2.02	2.02	2.18	3.44	3.67
北部	0.36	0.57	0.36	0.43	0.36	0.21	0.43	0.71	1.14	1.79	2.43	2.29	3.36	4.14	5.00	3.64	6.00	6.07
西部	0.40	0.60	0.30	0.30	0.20	1.00	0.10	0.30	0.30	1.20	2.10	1.80	3.00	2.20	2.20	1.80	2.40	3.90
東部	0.20	0.27	0.13	0.07	0.13	0.40	0.20	0.13	0.40	0.13	1.00	1.33	1.53	0.93	0.60	1.73	2.93	1.87
南部	0.24	0.24	0.18	0.29	0.35	0.47	0.12	0.00	0.35	0.94	0.65	1.35	2.71	1.12	0.78	1.61	2.44	3.17

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
市	3.32	3.32	2.35	2.67	1.49	1.21	1.21	0.70	0.53	0.67	0.39	0.53	0.61	0.93	0.74	0.82
北部	4.79	4.64	3.07	4.43	2.29	2.00	2.21	0.86	1.14	1.29	1.07	0.71	0.71	2.00	1.14	1.29
西部	4.00	3.70	2.80	3.20	1.30	1.40	1.50	1.00	0.20	0.40	0.40	0.50	0.50	0.60	0.30	0.60
東部	1.47	2.00	1.40	1.73	1.40	0.40	0.87	0.33	0.40	0.33	0.00	0.53	0.60	0.33	0.80	0.73
南部	3.33	3.17	2.33	1.78	1.06	1.17	0.56	0.72	0.33	0.61	0.17	0.39	0.61	0.78	0.61	0.67

定点あたり報告数 経年変化(2009年第1週～2018年第52週)

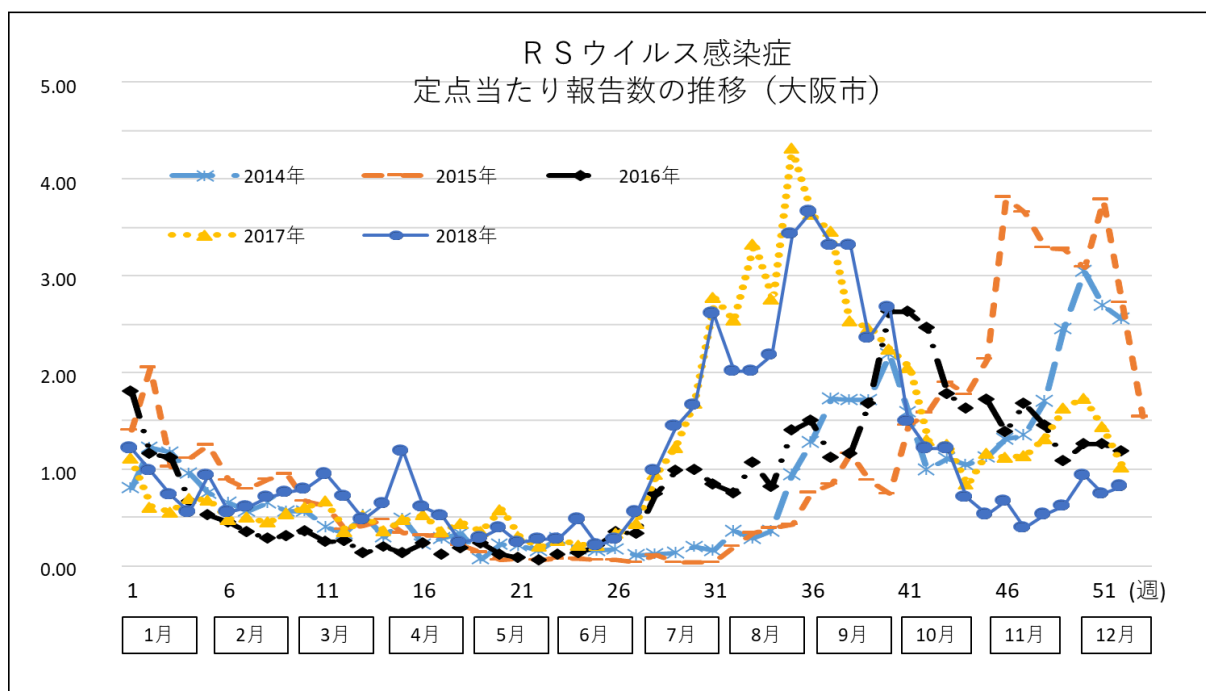


トピックス～RS ウイルス感染症～

RSV 感染症は、2003 年に感染症発生動向調査の小児科定点把握 5 類感染症の一つに加えられ、届出基準には検査診断が必須と定められている。RSV 抗原検査は、当初 3 歳未満入院患者のみが保険適用対象であったが、現在では全年齢の入院患者、1 歳未満の乳児、及びパリビズマブ製剤の適用となる患者にも対象が拡大されている。RSV 感染症報告数の推移については、このような検査診断の保険適用拡大による影響も考えなければならない。

大阪市を含む大阪府では、「定点当たり報告数」で報告を行っているが、全国規模の発生動向では、サーベイランス開始当初、届出のある定点医療機関が多くはなかったことより、「届出数」として把握されてきた。しかし、定点医療機関の約 8 割から RSV 感染症が報告されるようになってきたことから、2018 年第 9 週より全国でも大阪府と同様に「定点当たり報告数」が示されるようになった。

RSV 感染症は、新生児・乳幼児や免疫不全者では重症化しやすい。早産児、気管支肺異形成症や先天性心疾患等を持つ児を対象に、重症化予防目的でヒト化抗 RSV-F 蛋白単クローン抗体であるパリビズマブが保険適用となっている。パリビズマブの投与については、これまで『日本におけるパリビズマブの使用に関するガイドライン』（日本小児科学会）に、「初回投与は RSV 流行が開始する前に行い、流行が終了するまで継続」「日本の多くの地域では RSV 流行期は通常 10～12 月に開始し、3～5 月に終了する」と記載されていた。しかし、2016 年以降、報告数の増加が早まり秋にピークを迎えるパターンとなっている（大阪市のピーク週：2014 年第 50 週、2015 年第 46 週、2016 年第 40・41 週、2017 年第 35 週、2018 年第 36 週）。この発生動向の変化を受け、2018 年 4 月上記ガイドラインが一部改正され「各年度の RSV 流行時期は年度によって変動している」「感染症発生動向調査等、入手し得るデータを参考に、投与開始と終了時期を決定することが重要」と書かれた。また、2019 年 4 月に出された『日本におけるパリビズマブの使用に関するコンセンサスガイドライン』（同）においても、「投与計画を立てるために、各都道府県における直近数年間の感染症発生動向調査に基づく RSV 感染症の流行状況、定点当たりの患者報告数などから」流行開始時期及び終了時期を推定するよう書かれている。パリビズマブ投与時期の決定に関し、変動する RSV 感染症の流行を把握する上でも、感染症発生動向に注視していくことは非常に重要と考えられる。

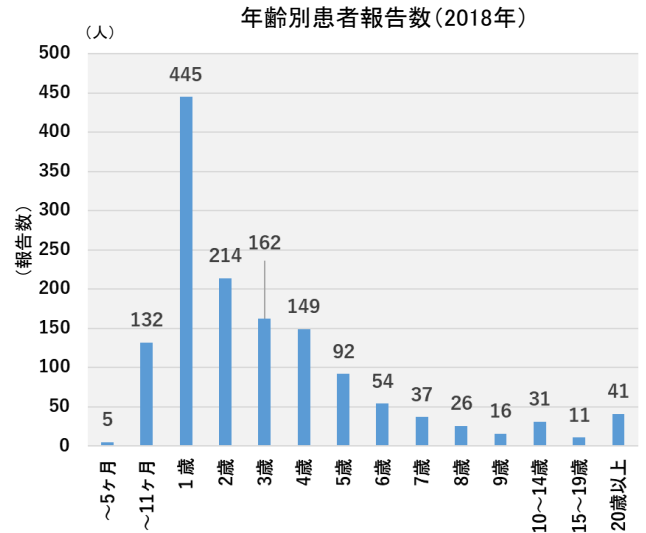
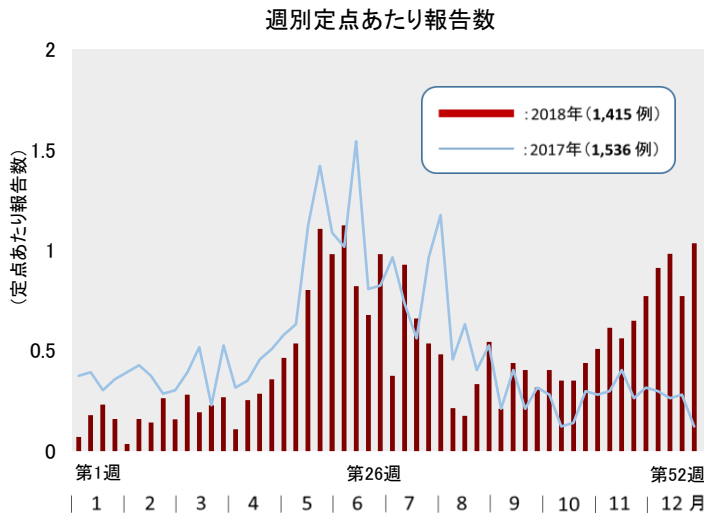


イ 咽頭結膜熱

2018年の咽頭結膜熱の報告数は1,415人、定点当たりの報告数は24.82であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.91である。

週別定点あたり報告数では、夏期と冬期の二峰性の流行をみせ、ピークは23週の1.13であった。

年齢別患者報告数は、1歳代の445人、2歳代の214人、3歳代の162人と続き、5歳代以下全体の84.7%を占めた。



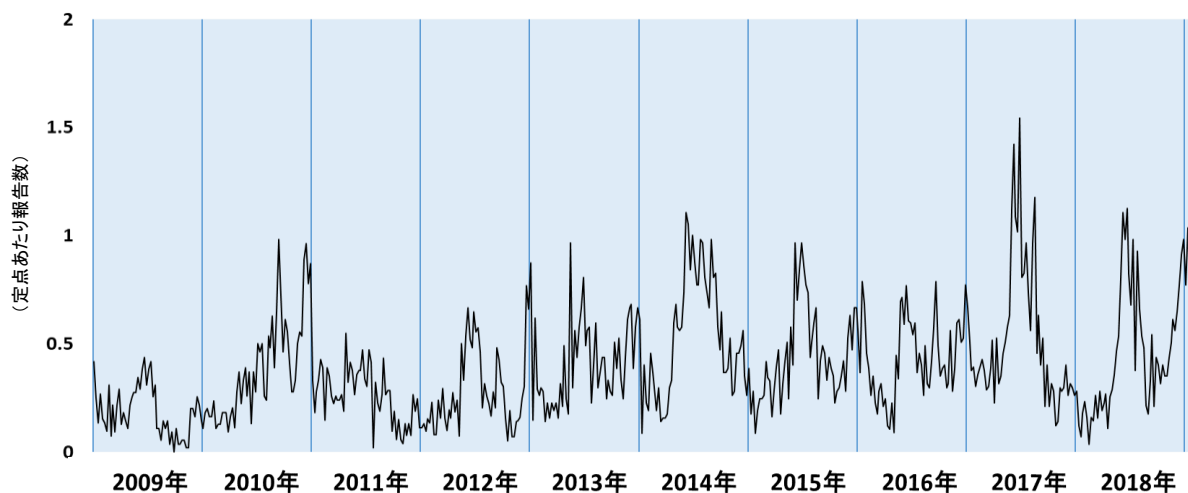
《ブロック別・週別定点あたり報告数》

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
市	0.07	0.18	0.23	0.16	0.04	0.16	0.14	0.26	0.16	0.28	0.19	0.23	0.27	0.11	0.25	0.29	0.36	0.46
北部	0.07	0.36	0.36	0.14	0.00	0.29	0.21	0.36	0.07	0.36	0.36	0.43	0.43	0.00	0.64	0.43	0.43	0.21
西部	0.10	0.10	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.10	0.00	0.30	0.10	0.00	0.20	0.20	0.30	0.70
東部	0.00	0.20	0.13	0.00	0.00	0.13	0.20	0.27	0.13	0.07	0.07	0.27	0.33	0.20	0.07	0.27	0.27	0.60
南部	0.12	0.06	0.24	0.35	0.12	0.18	0.12	0.33	0.11	0.50	0.28	0.00	0.18	0.19	0.13	0.24	0.41	0.41

週	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
市	0.54	0.80	1.11	0.98	1.13	0.82	0.68	0.98	0.38	0.93	0.66	0.54	0.48	0.21	0.18	0.33	0.54	0.21
北部	0.64	0.57	0.86	0.64	0.86	0.86	0.50	1.00	0.36	0.93	0.71	0.64	0.29	0.07	0.14	0.21	0.29	0.07
西部	0.30	0.50	0.40	0.60	1.00	0.40	0.30	0.20	0.30	0.20	0.40	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00
東部	0.60	1.27	1.80	1.00	1.13	0.53	0.47	0.60	0.20	0.40	0.53	0.60	0.60	0.67	0.27	0.73	0.33	0.40
南部	0.53	0.76	1.12	1.47	1.41	1.29	1.24	1.76	0.59	1.82	0.88	0.71	0.82	0.06	0.11	0.17	1.11	0.28

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
市	0.44	0.40	0.32	0.40	0.35	0.35	0.44	0.51	0.61	0.56	0.65	0.77	0.91	0.98	0.77	1.04
北部	0.21	0.14	0.36	0.57	0.57	0.64	0.71	0.50	1.00	0.64	1.21	1.00	1.86	2.00	0.86	0.71
西部	0.40	0.30	0.60	0.60	0.30	0.20	0.30	0.80	0.80	0.60	0.70	0.70	0.60	0.60	0.50	1.50
東部	0.40	0.13	0.13	0.33	0.33	0.27	0.47	0.60	0.53	0.73	0.27	0.80	0.73	0.67	0.87	0.87
南部	0.67	0.89	0.28	0.22	0.22	0.28	0.28	0.28	0.28	0.33	0.50	0.61	0.50	0.67	0.78	1.17

定点あたり報告数 経年変化(2009 年第1週～2018 年第52週)

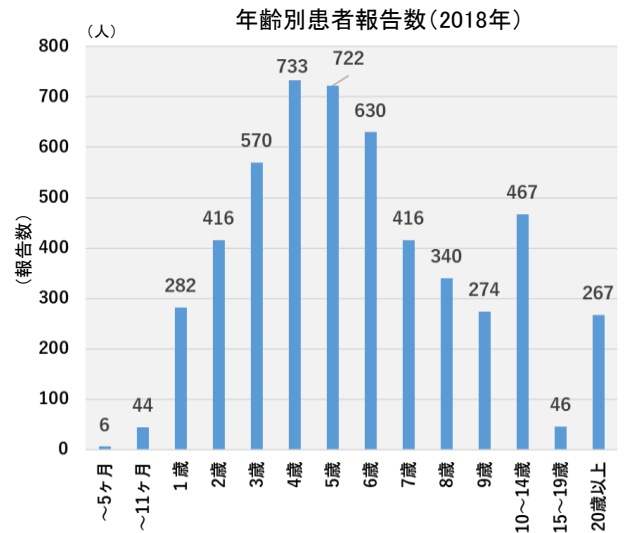
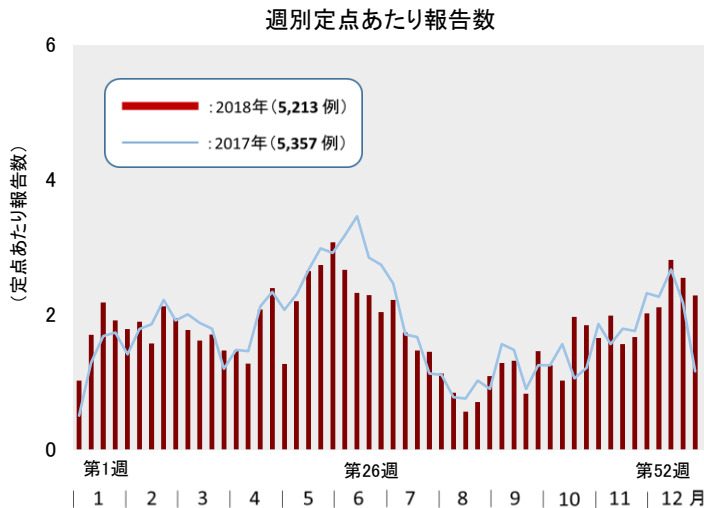


ウ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2018年のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は5,213人、定点当たりの報告数は91.46であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は76.78である。

週別定点あたり報告数は、初夏と冬期に流行があり、例年と同様の傾向であった。ピークは22週の3.07であった。

年齢別患者報告数は4歳代の733人、5歳代の722人、6歳代の630人と続いた。



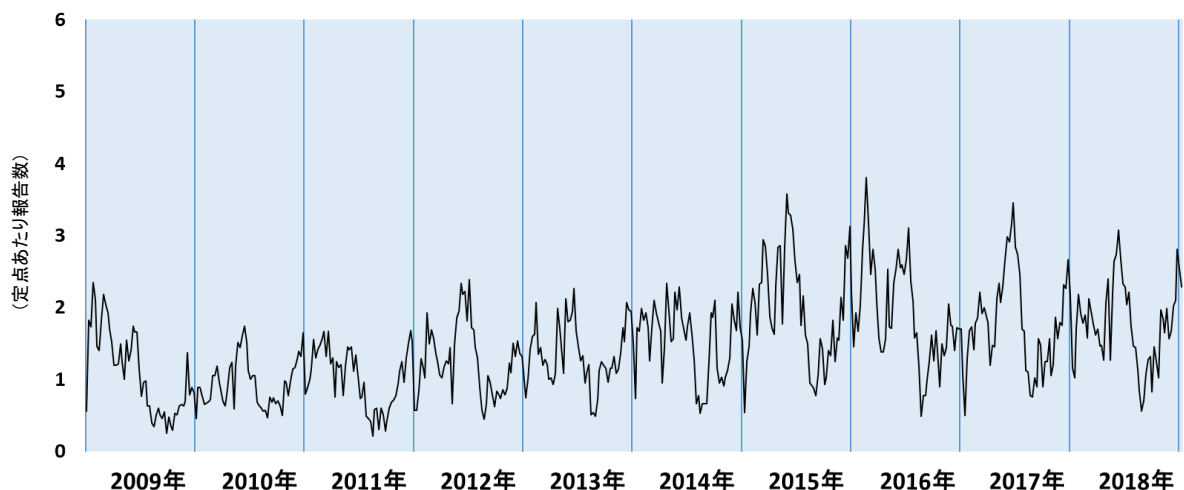
《ブロック別・週別定点あたり報告数》

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
市	1.02	1.70	2.18	1.91	1.79	1.89	1.57	2.12	1.95	1.77	1.61	1.70	1.46	1.47	1.27	2.07	2.39	1.27
北部	0.50	2.14	2.71	1.93	1.14	1.21	1.21	1.79	1.36	1.71	0.93	1.79	1.21	1.29	1.29	1.64	2.21	1.57
西部	1.80	2.60	2.70	2.00	1.60	1.40	1.90	2.50	3.50	2.00	2.20	1.90	2.20	2.00	1.10	1.80	2.90	1.20
東部	0.60	0.67	0.80	1.60	0.87	1.07	0.33	1.07	0.67	0.40	0.93	0.80	0.33	1.07	0.80	0.87	1.53	0.73
南部	1.35	1.71	2.65	2.12	3.24	3.47	2.76	3.06	2.61	2.83	2.39	2.28	2.24	1.69	1.81	3.65	3.00	1.53

週	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
市	2.20	2.64	2.73	3.07	2.66	2.32	2.29	2.04	2.21	1.73	1.46	1.45	1.13	0.84	0.56	0.70	1.09	1.28
北部	2.57	2.64	2.79	4.36	3.00	2.50	2.21	1.79	2.57	1.21	1.21	0.86	1.29	0.50	0.43	0.64	0.71	0.64
西部	1.80	2.20	2.50	2.70	2.20	2.00	2.30	2.00	2.60	1.70	1.00	1.00	1.00	0.90	0.90	0.70	0.90	1.60
東部	1.33	1.40	1.53	1.53	1.27	1.47	0.93	0.80	1.27	0.93	1.07	1.20	0.67	0.87	0.13	0.87	0.87	0.93
南部	2.88	4.00	3.88	3.59	3.88	3.12	3.53	3.35	2.53	2.88	2.29	2.41	1.47	1.06	0.83	0.61	1.67	1.89

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
市	1.32	0.82	1.46	1.25	1.02	1.96	1.84	1.65	1.98	1.56	1.67	2.02	2.11	2.81	2.54	2.28
北部	1.00	0.43	0.93	1.43	1.21	2.14	1.93	1.21	2.14	2.43	1.21	1.29	2.29	2.93	2.00	2.00
西部	1.40	1.50	1.20	0.50	0.80	1.40	2.50	1.50	2.60	1.00	2.30	2.60	1.60	3.90	2.70	2.20
東部	1.27	0.27	1.93	1.73	0.93	1.87	1.27	1.53	1.53	0.67	1.33	1.40	2.00	2.00	1.53	1.00
南部	1.56	1.22	1.61	1.11	1.06	2.22	1.89	2.17	1.89	1.94	1.94	2.78	2.33	2.78	3.72	3.61

定点あたり報告数 経年変化(2009年第1週~2018年第52週)

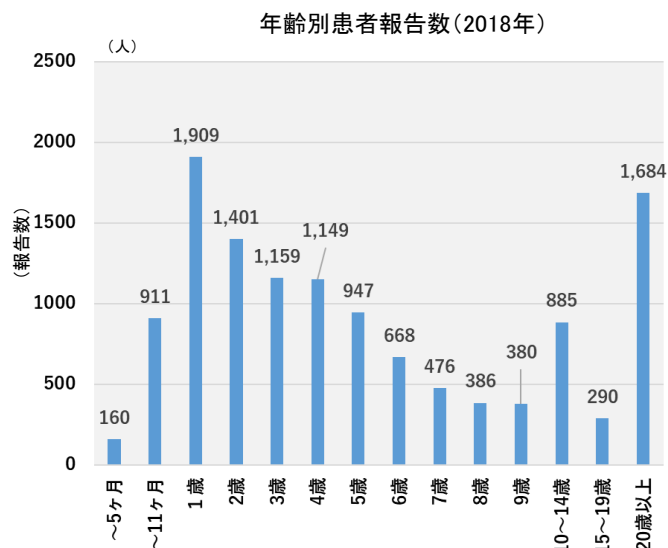
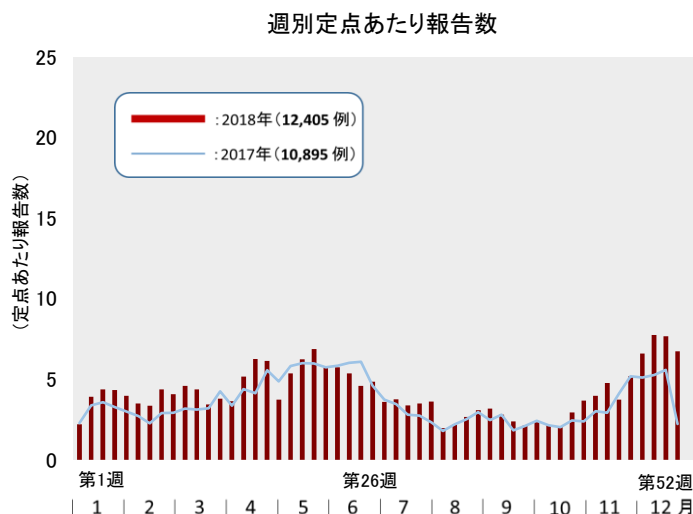


エ 感染性胃腸炎

2018年の感染性胃腸炎の報告数は12,405人で、定点当たりの報告数は217.63であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は239.44である。

週別定点あたり報告数は春期から夏期と、冬期に流行をみせ、ピークは50週の7.75であった。

0～9歳における年齢別患者報告数は1歳代が1,909人と最も多く、2歳代の1,401人、3歳代の1,159人と続き、0～4歳で全体の53.9%を占めた。



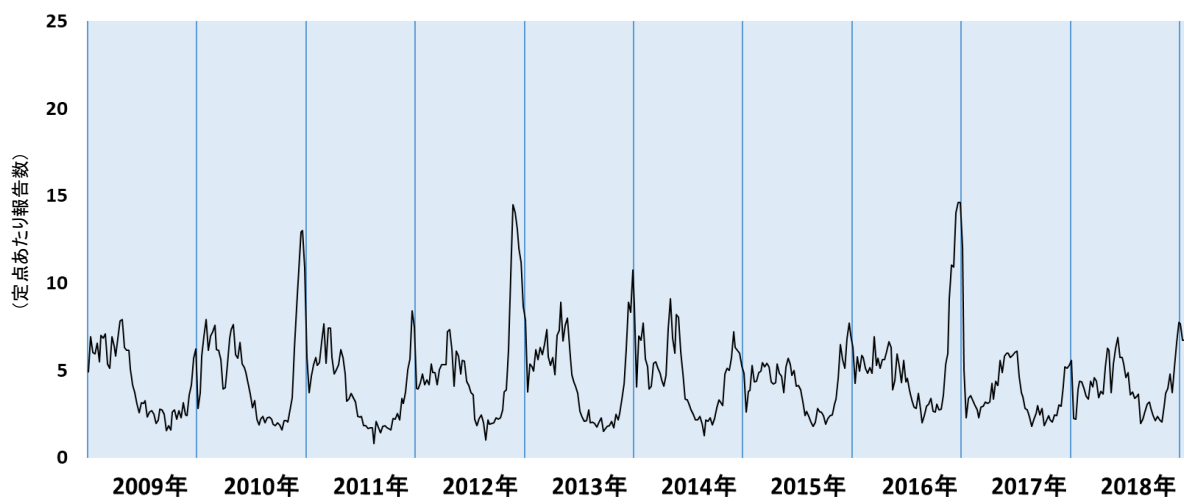
《ブロック別・週別定点あたり報告数》

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
市	2.21	3.91	4.38	4.34	3.98	3.50	3.36	4.37	4.07	4.60	4.37	3.44	3.80	3.64	5.16	6.27	6.14	3.73
北部	2.07	4.93	6.93	6.07	6.07	6.29	5.07	6.21	6.86	6.64	5.57	4.79	3.71	5.14	6.21	5.86	7.14	5.93
西部	4.60	2.80	4.70	4.30	3.90	2.70	4.60	6.60	2.80	5.60	3.80	3.50	5.20	3.90	6.60	9.30	6.00	4.00
東部	1.13	3.47	2.20	3.07	3.27	2.00	2.27	2.20	2.13	2.87	4.27	2.53	3.40	2.07	3.13	2.60	3.47	3.00
南部	1.88	4.12	4.00	4.06	2.94	3.00	2.18	3.50	4.22	3.89	3.83	3.11	3.41	3.63	5.25	8.06	7.76	2.41

週	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
市	5.38	6.25	6.88	5.73	5.75	5.36	4.59	4.86	3.59	3.75	3.38	3.50	3.63	1.96	2.19	2.67	3.07	3.18
北部	9.00	7.64	9.29	6.50	7.93	6.86	5.79	4.50	3.71	3.21	4.43	3.50	3.57	2.21	3.43	3.57	3.00	2.57
西部	4.80	7.10	5.90	6.80	5.20	6.50	2.80	5.40	2.50	3.30	4.40	3.30	3.60	1.90	3.50	2.10	2.70	3.50
東部	3.07	3.73	4.00	3.67	3.53	2.20	2.87	2.07	3.13	2.20	1.60	2.93	2.27	1.80	0.93	1.93	2.60	1.60
南部	4.76	6.82	8.00	6.29	6.24	6.24	6.18	7.29	4.53	5.82	3.47	4.12	4.88	1.94	1.56	2.89	3.72	4.78

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
市	2.81	2.39	2.12	2.35	2.14	2.02	2.95	3.68	3.96	4.77	3.74	5.19	6.60	7.75	7.67	6.74
北部	2.50	2.57	1.86	2.50	3.21	3.29	2.71	4.07	6.50	7.07	5.57	6.50	9.64	9.57	9.36	5.93
西部	3.70	2.00	2.90	2.40	3.60	1.40	3.80	6.60	5.40	6.20	5.30	6.60	6.20	7.80	6.90	11.20
東部	1.80	1.00	1.93	2.00	0.93	1.60	2.60	2.60	1.53	3.47	1.40	3.60	3.00	4.47	5.40	2.93
南部	3.39	3.61	2.06	2.50	1.50	1.72	2.94	2.67	3.22	3.28	3.39	4.72	7.44	9.06	8.67	8.06

定点あたり報告数 経年変化(2009 年第1週～2018 年第52週)

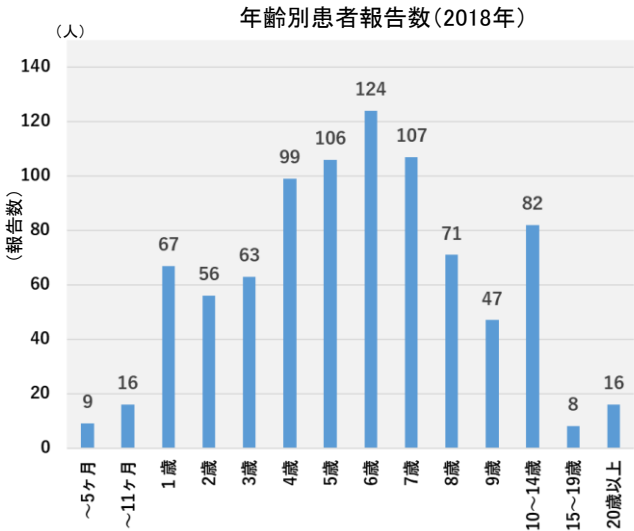
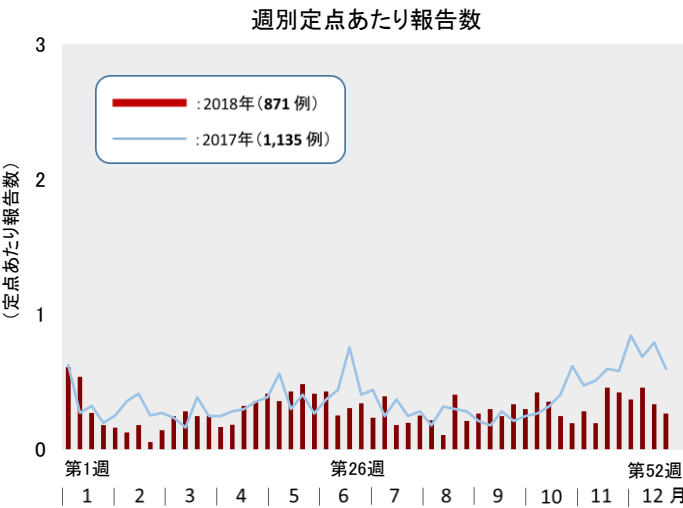


オ 水痘

2018年の水痘の報告数は871人、定点当たりの報告数は15.28であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は39.56であり、過去10年間で最も少ない報告数であった。

2014年10月の水痘ワクチンの定期接種導入以降は報告数が減少している。週別定点あたり報告数は、例年と同様に春期と冬期に二峰性のピークをみせた。

年齢別患者報告数は6歳代の124人が最も多く、7歳代の107人、5歳代の106人と続いた。



《ブロック別・週別定点あたり報告数》

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
市	0.61	0.54	0.27	0.18	0.16	0.13	0.18	0.05	0.14	0.25	0.28	0.25	0.25	0.16	0.18	0.32	0.36	0.41
北部	0.79	1.14	0.43	0.21	0.36	0.21	0.21	0.07	0.36	0.50	0.36	0.29	0.43	0.43	0.21	0.36	0.64	0.86
西部	1.90	0.80	0.60	0.30	0.10	0.20	0.30	0.00	0.10	0.20	0.60	0.20	0.30	0.00	0.50	0.30	0.60	0.80
東部	0.13	0.20	0.13	0.20	0.13	0.07	0.13	0.07	0.00	0.13	0.20	0.20	0.27	0.07	0.00	0.13	0.13	0.07
南部	0.12	0.18	0.06	0.06	0.06	0.06	0.12	0.06	0.11	0.17	0.11	0.28	0.06	0.13	0.13	0.47	0.18	0.12

週	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
市	0.36	0.43	0.48	0.41	0.43	0.25	0.30	0.34	0.23	0.39	0.18	0.20	0.25	0.21	0.11	0.40	0.21	0.26
北部	0.21	0.36	0.43	0.29	0.50	0.14	0.29	0.07	0.29	0.50	0.07	0.29	0.14	0.07	0.29	0.36	0.50	0.29
西部	0.60	0.80	0.70	0.90	0.50	0.70	0.20	0.40	0.50	0.40	0.10	0.30	0.40	0.60	0.10	0.40	0.00	0.40
東部	0.27	0.33	0.67	0.60	0.47	0.33	0.40	0.73	0.20	0.47	0.20	0.20	0.07	0.00	0.07	0.27	0.20	0.13
南部	0.41	0.35	0.24	0.06	0.29	0.00	0.29	0.18	0.06	0.24	0.29	0.06	0.41	0.29	0.00	0.56	0.11	0.28

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
市	0.30	0.25	0.33	0.30	0.42	0.35	0.25	0.19	0.28	0.19	0.46	0.42	0.37	0.46	0.33	0.26
北部	0.71	0.21	0.64	0.07	0.64	0.43	0.43	0.43	0.14	0.36	0.21	1.14	0.21	0.57	0.50	0.43
西部	0.10	0.50	0.50	0.90	0.30	0.50	0.60	0.20	0.50	0.30	0.90	0.30	0.40	0.20	0.40	0.40
東部	0.07	0.33	0.20	0.40	0.07	0.20	0.13	0.07	0.27	0.13	0.33	0.27	0.80	0.87	0.33	0.13
南部	0.28	0.06	0.11	0.06	0.61	0.33	0.00	0.11	0.28	0.06	0.50	0.06	0.11	0.17	0.17	0.17

定点あたり報告数 経年変化(2009 年第1週～2018 年第52週)

